



## ONCC 公開文化講座 開講

たつみ都志が語る

### 「女性はどう生きてきたのか～近代文学作品で紐とく～」②

2019.04.19～2020.03.28 関西みらい銀行 豊中支店 4階ホール

今年の東京大学入学式祝辞で、大学入試や学校生活、その後の女性の置かれている立場を述べられ、日本を代表する東大や他の大学に於て、まだまだ男女の格差や不平等性の現実に驚かされました。

日本は島国として世界から隔絶され独自の文化をはぐくみながら、緩やかに動いてきた江戸時代が終わると、明治維新を境に急激な変化で西洋化が進み、明治・大正・昭和と大きな時代変化をした。時代の移り変わりと同様に文学界も躍進し、近代小説が生まれた。その中で女性がどのように生きたか、作者が世の中の女性をどのようにとらえたか。日本の代表的な作者の作品を通してこれを学びます。

第1回目はONCCの猪谷理事長挨拶のあと、白いスーツに身を包まれた『たつみ先生』が大正10年から昭和12年にかけて雑誌に掲載された『志賀直哉の暗夜行路』の講義を頂きました。いつもながら講義に熱が入り、瞬く間に時間が経過しました。



たつみ 都志 先生



